

令和4年度

長野市各財産区特別会計

決算審査意見書

松代財産区

豊栄財産区

西寺尾本郷財産区

今井財産区

信級財産区

日原財産区

長野市監査委員

5 監査第72号
令和 5 年 9 月 28 日

長野市各財産区
長野市長 荻原健司 様

長野市監査委員	西 島	勉
同	榑 原	剛
同	小 泉	栄 正
同	西 沢	利 一

令和 4 年度長野市各財産区特別会計決算審査意見について

地方自治法第 233 条第 2 項の規定により審査に付された、令和 4 年度長野市各財産区特別会計決算及びその附属書類を審査したので、次のとおり意見を提出します。

目 次

第1	審査の種類	1
第2	審査の対象	1
第3	審査の着眼点	1
第4	審査の実施内容	1
第5	審査の結果	2

決算の概要

松代財産区特別会計	3
豊栄財産区特別会計	5
西寺尾本郷財産区特別会計	7
今井財産区特別会計	9
信級財産区特別会計	11
日原財産区特別会計	13

(注) 比率(%)及び構成比率(%)は、小数点以下第二位を四捨五入した。

令和4年度長野市各財産区特別会計決算審査意見

第1 審査の種類

地方自治法第233条第2項の規定に基づいた決算審査で、令和5年6月30日から9月21日までの間、長野市監査基準に準拠して審査を実施した。

第2 審査の対象

1 令和4年度長野市各財産区特別会計の決算

松代財産区特別会計
豊栄財産区特別会計
西寺尾本郷財産区特別会計
今井財産区特別会計
信級財産区特別会計
日原財産区特別会計

上記各財産区特別会計歳入歳出決算書

2 附属書類

歳入歳出決算事項別明細書
実質収支に関する調書
財産に関する調書

第3 審査の着眼点

全国都市監査委員会 実務ガイドライン「監査の着眼点」を踏まえ、法令に定められた決算書類相互の係数が一致しているか、また、事業は効率的に行われているかを審査の着眼点とした。

第4 審査の実施内容

審査に当たっては、決算書及び附属書類が、地方自治法その他関係法令に準拠して作成されているかを確認し、計数が正確であるか、予算の執行が適正かつ効率的に行われているかについて、諸帳簿、証書類と照合するとともに、関係職員の説明聴取を実施した。

なお、例月現金出納検査の結果も参考にして審査した。

第5 審査の結果

前記の方法により審査した限りにおいて、決算その他関係書類が法令に適合し、かつ正確であると認められた。

なお、「意見」は、次のとおりである。

<意見>

財産区の公有財産である山林(立木)等の管理を引き続き適切に実施されたい。
貸付地についても、契約に定める目的に従って適切に使用されているか、引き続き確認されたい。

決算の概要

松代財産区特別会計

1 決算の概況

当年度の歳入決算額 1,863,651 円に対する歳出決算額は 884,813 円で、歳入歳出差引残額 978,838 円が翌年度へ繰り越されている。

(1) 歳入

歳入の決算状況は、次表のとおりである。

(単位 円・%)

区分 款別	予算現額	調定額	収入済額	不納 欠損額	収入 未済額	収入率・収納率	
						対予算現額	対調定額
財産収入	873,000	873,240	873,240	0	0	100.0	100.0
繰越金	500,000	990,406	990,406	0	0	198.1	100.0
繰入金	100,000	0	0	0	0	0.0	—
諸収入	2,000	5	5	0	0	0.3	100.0
合計	1,475,000	1,863,651	1,863,651	0	0	126.3	100.0
3年度	1,445,000	1,879,943	1,879,943	0	0	130.1	100.0
比較増減	30,000	△16,292	△16,292	0	0	△3.8 ポイント	0.0 ポイント
前年度対比	102.1	99.1	99.1	—	—	—	—

収入済額は 1,863,651 円で、調定額に対する収納率は 100.0% である。

収入済額の主なものは、繰越金 990,406 円及び財産収入 873,240 円である。

(2) 歳出

歳出の決算状況は、次表のとおりである。

(単位 円・%)

区分 款別	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
総務費	1,445,000	884,813	0	560,187	61.2
予備費	30,000	0	0	30,000	0.0
合計	1,475,000	884,813	0	590,187	60.0
3年度	1,445,000	889,537	0	555,463	61.6
比較増減	30,000	△4,724	0	34,724	△1.6ポイント
前年度対比	102.1	99.5	—	106.3	—

支出済額は 884,813 円で、予算現額に対する執行率は 60.0% である。

支出済額は、全額総務費である。

2 財産に関する調書

(1) 公有財産

土地、建物及び山林の状況は、次表のとおりである。

(単位 m²)

区 分	土 地			建 物		
	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高
山 林	3,411,494	0	3,411,494	0	0	0
立木 (m ³) (推定蓄積量)	64,111	502	64,613	—	—	—

出資による権利の状況は、次表のとおりである。

(単位 円)

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
長 野 森 林 組 合	311,200	0	311,200
長野県林業センター	100,000	0	100,000
合 計	411,200	0	411,200

(2) 基 金

基金の状況は、次表のとおりである。

(単位 円)

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
現 金	23,559,000	0	23,559,000

豊栄財産区特別会計

1 決算の概況

当年度の歳入決算額 270,244 円に対する歳出決算額は 10,471 円で、歳入歳出差引残額 259,773 円が翌年度へ繰り越されている。

(1) 歳 入

歳入の決算状況は、次表のとおりである。

(単位 円・%)

区分 款別	予算現額	調定額	収入済額	不納 欠損額	収入 未済額	収入率・収納率	
						対予算現額	対調定額
財産収入	20,000	20,839	20,839	0	0	104.2	100.0
繰越金	208,000	249,403	249,403	0	0	119.9	100.0
分担金及び負担金	1,000	0	0	0	0	0.0	—
諸収入	2,000	2	2	0	0	0.1	100.0
合 計	231,000	270,244	270,244	0	0	117.0	100.0
3年度	230,000	258,003	258,003	0	0	112.2	100.0
比較増減	1,000	12,241	12,241	0	0	4.8 ポイント	0.0 ポイント
前年度対比	100.4	104.7	104.7	—	—	—	—

収入済額は 270,244 円で、調定額に対する収納率は 100.0% である。

収入済額の主なものは、繰越金 249,403 円である。

(2) 歳 出

歳出の決算状況は、次表のとおりである。

(単位 円・%)

区分 款別	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
総務費	181,000	10,471	0	170,529	5.8
予備費	50,000	0	0	50,000	0.0
合 計	231,000	10,471	0	220,529	4.5
3年度	230,000	8,600	0	221,400	3.7
比較増減	1,000	1,871	0	△871	0.8ポイント
前年度対比	100.4	121.8	—	99.6	—

支出済額は 10,471 円で、予算現額に対する執行率は 4.5% である。

支出済額は、全額総務費である。

2 財産に関する調書

(1) 公有財産

土地、建物及び山林の状況は、次表のとおりである。

(単位 m²)

区 分	土 地			建 物		
	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高
山 林	225,771	0	225,771	0	0	0
立木 (m ³) (推定蓄積量)	19,558	162	19,720	—	—	—

西寺尾本郷財産区特別会計

1 決算の概況

当年度の歳入決算額 581,896 円に対する歳出決算額は 287,645 円で、歳入歳出差引残額 294,251 円が翌年度へ繰り越されている。

(1) 歳 入

歳入の決算状況は、次表のとおりである。

(単位 円・%)

区分 款別	予算現額	調 定 額	収入済額	不 納 欠 損 額	収 入 未 済 額	収入率・収納率	
						対予算現額	対調定額
財産収入	46,000	45,080	45,080	0	0	98.0	100.0
繰越金	242,000	256,814	256,814	0	0	106.1	100.0
繰入金	280,000	280,000	280,000	0	0	100.0	100.0
諸収入	2,000	2	2	0	0	0.1	100.0
合 計	570,000	581,896	581,896	0	0	102.1	100.0
3 年度	570,000	553,188	553,188	0	0	97.1	100.0
比較増減	0	28,708	28,708	0	0	5.0 ポイント	0.0 ポイント
前年度対比	100.0	105.2	105.2	—	—	—	—

収入済額は 581,896 円で、調定額に対する収納率は 100.0%である。

収入済額の主なものは、繰入金 280,000 円及び繰越金 256,814 円である。

(2) 歳 出

歳出の決算状況は、次表のとおりである。

(単位 円・%)

区分 款別	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
総務費	540,000	287,645	0	252,355	53.3
予備費	30,000	0	0	30,000	0.0
合 計	570,000	287,645	0	282,355	50.5
3 年度	570,000	296,374	0	273,626	52.0
比較増減	0	△8,729	0	8,729	△1.5ポイント
前年度対比	100.0	97.1	—	103.2	—

支出済額は 287,645 円で、予算現額に対する執行率は 50.5%である。

支出済額は、全額総務費である。

2 財産に関する調書

(1) 公有財産

土地及び建物の状況は、次表のとおりである。

(単位 m²)

区 分	土 地			建 物		
	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高
原野 (畑)	20,132	0	20,132	0	0	0

(2) 基 金

基金の状況は、次表のとおりである。

(単位 円)

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
現 金	4,346,000	△ 280,000	4,066,000

今井財産区特別会計

1 決算の概況

当年度の歳入決算額 629,930 円に対する歳出決算額は 552,223 円で、歳入歳出差引残額 77,707 円が翌年度へ繰り越されている。

(1) 歳入

歳入の決算状況は、次表のとおりである。

(単位 円・%)

区分 款別	予算現額	調定額	収入済額	不納 欠損額	収入 未済額	収入率・収納率	
						対予算現額	対調定額
財産収入	172,000	171,351	171,351	0	0	99.6	100.0
繰越金	107,000	108,578	108,578	0	0	101.5	100.0
繰入金	350,000	350,000	350,000	0	0	100.0	100.0
諸収入	2,000	1	1	0	0	0.1	100.0
合計	631,000	629,930	629,930	0	0	99.8	100.0
3年度	676,000	523,083	523,083	0	0	77.4	100.0
比較増減	△45,000	106,847	106,847	0	0	22.4 ポイント	0.0 ポイント
前年度対比	93.3	120.4	120.4	—	—	—	—

収入済額は 629,930 円で、調定額に対する収納率は 100.0%である。

収入済額の主なものは、繰入金 350,000 円及び財産収入 171,351 円である。

(2) 歳出

歳出の決算状況は、次表のとおりである。

(単位 円・%)

区分 款別	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
総務費	621,000	552,223	0	68,777	88.9
予備費	10,000	0	0	10,000	0.0
合計	631,000	552,223	0	78,777	87.5
3年度	676,000	414,505	0	261,495	61.3
比較増減	△45,000	137,718	0	△182,718	26.2ポイント
前年度対比	93.3	133.2	—	30.1	—

支出済額は 552,223 円で、予算現額に対する執行率は 87.5%である。

支出済額は、全額総務費である。

2 財産に関する調書

(1) 公有財産

土地、建物及び山林の状況は、次表のとおりである。

(単位 m²)

区 分	土 地			建 物		
	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高
山 林	730,586	0	730,586	0	0	0
立木 (m ³) (推定蓄積量)	15,232	73	15,305	—	—	—

出資による権利の状況は、次表のとおりである。

(単位 円)

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
長 野 森 林 組 合	27,900	0	27,900

(2) 基 金

基金の状況は、次表のとおりである。

(単位 円)

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
現 金	5,460,000	△ 350,000	5,110,000

信級財産区特別会計

1 決算の概況

当年度の歳入決算額 571,334 円に対する歳出決算額は 50,468 円で、歳入歳出差引残額 520,866 円が翌年度へ繰り越されている。

(1) 歳 入

歳入の決算状況は、次表のとおりである。

(単位 円・%)

区分 款別	予算現額	調定額	収入済額	不納 欠損額	収入 未済額	収入率・収納率	
						対予算現額	対調定額
財産収入	102,000	500,033	500,033	0	0	490.2	100.0
繰越金	71,000	71,301	71,301	0	0	100.4	100.0
諸収入	2,000	0	0	0	0	0.0	—
合 計	175,000	571,334	571,334	0	0	326.5	100.0
3年度	126,000	121,783	121,783	0	0	96.7	100.0
比較増減	49,000	449,551	449,551	0	0	229.8 ポイント	0.0 ポイント
前年度対比	138.9	469.1	469.1	—	—	—	—

収入済額は 571,334 円で、調定額に対する収納率は 100.0% である。

収入済額の主なものは、財産収入 500,033 円である。

(2) 歳 出

歳出の決算状況は、次表のとおりである。

(単位 円・%)

区分 款別	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
総務費	155,000	50,468	0	104,532	32.6
予備費	20,000	0	0	20,000	0.0
合 計	175,000	50,468	0	124,532	28.8
3年度	126,000	50,482	0	75,518	40.1
比較増減	49,000	△14	0	49,014	△11.3ポイント
前年度対比	138.9	100.0	—	164.9	—

支出済額は 50,468 円で、予算現額に対する執行率は 28.8% である。

支出済額は、全額総務費である。

2 財産に関する調書

(1) 公有財産

土地、建物及び山林の状況は、次表のとおりである。

(単位 m²)

区 分	土 地			建 物		
	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高
山 林	367,950.00	0	367,950.00	0	0	0
原 野	157,940.00	0	157,940.00	0	0	0
保 安 林	41,475.00	0	41,475.00	0	0	0
雑 種 地	297.00	0	297.00	0	0	0
宅 地	39.66	0	39.66	0	0	0
田	36.00	0	36.00	0	0	0
畑	416.00	0	416.00	0	0	0
合 計	568,153.66	0	568,153.66	0	0	0
立木 (m ³) (推定蓄積量)	10,698	△ 974	9,724	—	—	—

(2) 基 金

基金の状況は、次表のとおりである。

(単位 円)

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
現 金	1,650,000	0	1,650,000

日原財産区特別会計

1 決算の概況

当年度の歳入決算額 78,530 円に対する歳出決算額は 29,000 円で、歳入歳出差引残額 49,530 円が翌年度へ繰り越されている。

(1) 歳 入

歳入の決算状況は、次表のとおりである。

(単位 円・%)

区分 款別	予算現額	調 定 額	収入済額	不 納 欠 損 額	収 入 未 済 額	収入率・収納率	
						対予算現額	対調定額
財産収入	3,000	16	16	0	0	0.5	100.0
繰越金	77,000	78,514	78,514	0	0	102.0	100.0
繰入金	300,000	0	0	0	0	0.0	—
諸収入	2,000	0	0	0	0	0.0	—
合 計	382,000	78,530	78,530	0	0	20.6	100.0
3年度	110,000	107,114	107,114	0	0	97.4	100.0
比較増減	272,000	△28,584	△28,584	0	0	△76.8 ポイント	0.0 ポイント
前年度対比	347.3	73.3	73.3	—	—	—	—

収入済額は 78,530 円で、調定額に対する収納率は 100.0% である。
収入済額の主なものは、繰越金 78,514 円である。

(2) 歳 出

歳出の決算状況は、次表のとおりである。

(単位 円・%)

区分 款別	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
総務費	372,000	29,000	0	343,000	7.8
予備費	10,000	0	0	10,000	0.0
合 計	382,000	29,000	0	353,000	7.6
3年度	110,000	28,600	0	81,400	26.0
比較増減	272,000	400	0	271,600	△18.4ポイント
前年度対比	347.3	101.4	—	433.7	—

支出済額は 29,000 円で、予算現額に対する執行率は 7.6% である。
支出済額は、全額総務費である。

2 財産に関する調書

(1) 公有財産

土地、建物及び山林の状況は、次表のとおりである。

(単位 m²)

区 分	土 地			建 物		
	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高
山 林	475,652	0	475,652	0	0	0
原 野	33,759	0	33,759	0	0	0
保 安 林	21,844	0	21,844	0	0	0
雑 種 地	224	0	224	0	0	0
畑	228	0	228	0	0	0
合 計	531,707	0	531,707	0	0	0
立木 (m ³) (推定蓄積量)	12,814	80	12,894	—	—	—

(2) 基 金

基金の状況は、次表のとおりである。

(単位 円)

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
現 金	800,000	0	800,000

令和4年度

長野市東条財産区特別会計

決算審査意見書

長野市監査委員

5 監査第73号
令和 5 年 9 月 28 日

長野市東条財産区
長野市長 荻原健司 様

長野市監査委員	西 島 勉
同	榑 原 剛
同	小 泉 栄 正
同	西 沢 利 一

令和 4 年度長野市東条財産区特別会計決算審査意見について

地方自治法第 233 条第 2 項の規定により審査に付された、令和 4 年度長野市東条財産区特別会計決算及びその附属書類を審査したので、次のとおり意見を提出します。

目 次

第 1	審査の種類	1
第 2	審査の対象	1
第 3	審査の着眼点	1
第 4	審査の実施内容	1
第 5	審査の結果	1
1	決算の概況	3
2	財産に関する調書	4

(注) 比率 (%) 及び構成比率 (%) は、小数点以下第二位を四捨五入した。

令和4年度長野市東条財産区特別会計決算審査意見

第1 審査の種類

地方自治法第233条第2項の規定に基づいた決算審査で、令和5年6月30日から9月21日までの間、長野市監査基準に準拠して審査を実施した。

第2 審査の対象

1 令和4年度長野市東条財産区特別会計決算

東条財産区特別会計歳入歳出決算書

2 附属書類

歳入歳出決算事項別明細書

実質収支に関する調書

財産に関する調書

第3 審査の着眼点

全国都市監査委員会 実務ガイドライン「監査の着眼点」を踏まえ、法令に定められた決算書類相互の係数が一致しているか、また、事業は効率的に行われているかを審査の着眼点とした。

第4 審査の実施内容

審査に当たっては、決算書及び附属書類が、地方自治法その他関係法令に準拠して作成されているかを確認し、計数が正確であるか、予算の執行が適正かつ効率的に行われているかについて、諸帳簿、証書類と照合するとともに、関係職員の説明聴取を実施した。

なお、例月現金出納検査の結果も参考にして審査した。

第5 審査の結果

前記の方法により審査した限りにおいて、決算その他関係書類が法令に適合し、かつ正確であると認められた。

なお、「意見」は、次のとおりである。

<意見>

財産区の公有財産である山林(立木)等の管理を引き続き適切に実施されたい。
貸付地についても、契約に定める目的に従って適切に使用されているか、
引き続き確認されたい。

1 決算の概況

当年度の歳入決算額 960,780 円に対する歳出決算額は 586,034 円で、歳入歳出差引残額 374,746 円が翌年度へ繰り越されている。

(1) 歳 入

歳入の決算状況は、次表のとおりである。

(単位 円・%)

区分 款別	予算現額	調 定 額	収入済額	不 納 欠 損 額	収 入 未 済 額	収入率・収納率	
						対予算現額	対調定額
財産収入	3,000	338	338	0	0	11.3	100.0
繰越金	317,000	320,438	320,438	0	0	101.1	100.0
繰入金	640,000	640,000	640,000	0	0	100.0	100.0
諸収入	2,000	4	4	0	0	0.2	100.0
合 計	962,000	960,780	960,780	0	0	99.9	100.0
3年度	690,000	676,386	676,386	0	0	98.0	100.0
比較増減	272,000	284,394	284,394	0	0	1.9 ポイント	0.0 ポイント
前年度対比	139.4	142.0	142.0	—	—	—	—

収入済額は 960,780 円で、調定額に対する収納率は 100.0% である。

収入済額の主なものは、繰入金 640,000 円及び繰越金 320,438 円である。

(2) 歳 出

歳出の決算状況は、次表のとおりである。

(単位 円・%)

区分 款別	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
議会費	92,000	72,000	0	20,000	78.3
総務費	860,000	514,034	0	345,966	59.8
予備費	10,000	0	0	10,000	0.0
合 計	962,000	586,034	0	375,966	60.9
3年度	690,000	355,948	0	334,052	51.6
比較増減	272,000	230,086	0	41,914	9.3ポイント
前年度対比	139.4	164.6	—	112.5	—

支出済額は 586,034 円で、予算現額に対する執行率は 60.9% である。

支出済額の主なものは、総務費 514,034 円である。

2 財産に関する調書

(1) 公有財産

土地、建物及び山林の状況は、次表のとおりである。

(単位 m²)

区 分	土 地			建 物		
	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高
山 林	102,956	0	102,956	0	0	0
宅 地	940	0	940	0	0	0
原 野	99,334	0	99,334	0	0	0
そ の 他	8,060	0	8,060	0	0	0
合 計	211,290	0	211,290	0	0	0
立木 (m ³) (推定蓄積量)	5,424	28	5,452	—	—	—

出資による権利の状況は、次表のとおりである。

(単位 円)

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
長 野 森 林 組 合	10,500	0	10,500

(2) 基 金

基金の状況は、次表のとおりである。

(単位 円)

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
現 金	17,183,742	△ 640,000	16,543,742

令和4年度

長野市西条財産区特別会計

決算審査意見書

長野市監査委員

5 監査第74号
令和5年9月28日

長野市西条財産区
長野市長 荻原健司様

長野市監査委員	西島勉
同	榑原剛
同	小泉栄正
同	西沢利一

令和4年度長野市西条財産区特別会計決算審査意見について

地方自治法第233条第2項の規定により審査に付された、令和4年度長野市西条財産区特別会計決算及びその附属書類を審査したので、次のとおり意見を提出します。

目 次

第 1	審査の種類	1
第 2	審査の対象	1
第 3	審査の着眼点	1
第 4	審査の実施内容	1
第 5	審査の結果	1
1	決算の概況	3
2	財産に関する調書	4

(注) 比率 (%) 及び構成比率 (%) は、小数点以下第二位を四捨五入した。

令和4年度長野市西条財産区特別会計決算審査意見

第1 審査の種類

地方自治法第233条第2項の規定に基づいた決算審査で、令和5年6月30日から9月21日までの間、長野市監査基準に準拠して審査を実施した。

第2 審査の対象

1 令和4年度長野市西条財産区特別会計決算

西条財産区特別会計歳入歳出決算書

2 附属書類

歳入歳出決算事項別明細書

実質収支に関する調書

財産に関する調書

第3 審査の着眼点

全国都市監査委員会 実務ガイドライン「監査の着眼点」を踏まえ、法令に定められた決算書類相互の係数が一致しているか、また、事業は効率的に行われているかを審査の着眼点とした。

第4 審査の実施内容

審査に当たっては、決算書及び附属書類が、地方自治法その他関係法令に準拠して作成されているかを確認し、計数が正確であるか、予算の執行が適正かつ効率的に行われているかについて、諸帳簿、証書類と照合するとともに、関係職員の説明聴取を実施した。

なお、例月現金出納検査の結果も参考にして審査した。

第5 審査の結果

前記の方法により審査した限りにおいて、決算その他関係書類が法令に適合し、かつ正確であると認められた。

なお、「意見」は、次のとおりである。

<意見>

財産区の公有財産である山林(立木)等の管理を引き続き適切に実施されたい。
貸付地についても、契約に定める目的に従って適切に使用されているか、
引き続き確認されたい。

1 決算の概況

当年度の歳入決算額 6,435,640 円に対する歳出決算額は 5,438,801 円で、歳入歳出差引残額 996,839 円が翌年度へ繰り越されている。

(1) 歳 入

歳入の決算状況は、次表のとおりである。

(単位 円・%)

区分 款別	予算現額	調 定 額	収入済額	不 納 欠 損 額	収 入 未 済 額	収入率・収納率	
						対予算現額	対調定額
財産収入	103,000	100,490	100,490	0	0	97.6	100.0
繰越金	578,000	648,020	648,020	0	0	112.1	100.0
繰入金	4,645,000	4,645,000	4,645,000	0	0	100.0	100.0
分担金及び負担金	46,000	42,114	42,114	0	0	91.6	100.0
諸収入	2,000	16	16	0	0	0.8	100.0
寄付金	1,000,000	1,000,000	1,000,000	0	0	100.0	100.0
合 計	6,374,000	6,435,640	6,435,640	0	0	101.0	100.0
3 年度	1,340,000	1,498,185	1,498,185	0	0	111.8	100.0
比較増減	5,034,000	4,937,455	4,937,455	0	0	△10.8 ポイント	0.0 ポイント
前年度対比	475.7	429.6	429.6	—	—	—	—

収入済額は 6,435,640 円で、調定額に対する収納率は 100.0% である。

収入済額の主なものは、繰入金 4,645,000 円及び繰越金 648,020 円である。

(2) 歳 出

歳出の決算状況は、次表のとおりである。

(単位 円・%)

区分 款別	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
議会費	348,000	337,800	0	10,200	97.1
総務費	5,589,000	5,038,817	0	550,183	90.2
林業費	352,000	62,184	0	289,816	17.7
林道費	50,000	0	0	50,000	0.0
予備費	35,000	0	0	35,000	0.0
合 計	6,374,000	5,438,801	0	935,199	85.3
3 年度	1,340,000	850,165	0	489,835	63.4
比較増減	5,034,000	4,588,636	0	445,364	21.9ポイント
前年度対比	475.7	639.7	—	190.9	—

支出済額は5,438,801円で、予算現額に対する執行率は85.3%である。
支出済額の主なものは、総務費5,038,817円及び議会費337,800円である。

2 財産に関する調書

(1) 公有財産

土地、建物及び山林の状況は、次表のとおりである。

(単位 m²)

区 分	土 地			建 物		
	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高
山 林	576,525	0	576,525	0	0	0
原 野	594,338	0	594,338	0	0	0
事 務 所	528	0	528	447	0	447
合 計	1,171,391	0	1,171,391	447	0	447
立木 (m ³) (推定蓄積量)	83,710.33	△ 776.32	82,934.01	—	—	—

出資による権利の状況は、次表のとおりである。

(単位 円)

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
長 野 森 林 組 合	733,000	0	733,000
長野県林業センター	100,000	0	100,000
合 計	833,000	0	833,000

(2) 基 金

基金の状況は、次表のとおりである。

(単位 円)

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
現 金	22,361,842	△ 4,645,000	17,716,842

令和4年度

長野市大岡中牧財産区特別会計

決算審査意見書

長野市監査委員

5 監査第75号
令和 5 年 9 月 28 日

長野市大岡中牧財産区
長野市長 荻原健司 様

長野市監査委員	西 島 勉
同	榑 原 剛
同	小 泉 栄 正
同	西 沢 利 一

令和 4 年度長野市大岡中牧財産区特別会計決算審査意見について

地方自治法第 233 条第 2 項の規定により審査に付された、令和 4 年度長野市大岡中牧財産区特別会計決算及びその附属書類を審査したので、次のとおり意見を提出します。

目 次

第 1	審査の種類	1
第 2	審査の対象	1
第 3	審査の着眼点	1
第 4	審査の実施内容	1
第 5	審査の結果	1
1	決算の概況	3
2	財産に関する調書	4

(注) 比率 (%) 及び構成比率 (%) は、小数点以下第二位を四捨五入した。

令和4年度長野市大岡中牧財産区特別会計決算審査意見

第1 審査の種類

地方自治法第233条第2項の規定に基づいた決算審査で、令和5年6月30日から9月21日までの間、長野市監査基準に準拠して審査を実施した。

第2 審査の対象

1 令和4年度長野市大岡中牧財産区特別会計決算

大岡中牧財産区特別会計歳入歳出決算書

2 附属書類

歳入歳出決算事項別明細書

実質収支に関する調書

財産に関する調書

第3 審査の着眼点

全国都市監査委員会 実務ガイドライン「監査の着眼点」を踏まえ、法令に定められた決算書類相互の係数が一致しているか、また、事業は効率的に行われているかを審査の着眼点とした。

第4 審査の実施内容

審査に当たっては、決算書及び附属書類が、地方自治法その他関係法令に準拠して作成されているかを確認し、計数が正確であるか、予算の執行が適正かつ効率的に行われているかについて、諸帳簿、証書類と照合するとともに、関係職員の説明聴取を実施した。

なお、例月現金出納検査の結果も参考にして審査した。

第5 審査の結果

前記の方法により審査した限りにおいて、決算その他関係書類が法令に適合し、かつ正確であると認められた。

なお、「意見」は、次のとおりである。

<意 見>

財産区の公有財産である山林(立木)等の管理を引き続き適切に実施されたい。
貸付地についても、契約に定める目的に従って適切に使用されているか、
引き続き確認されたい。

1 決算の概況

当年度の歳入決算額 5,531,186 円に対する歳出決算額は 4,274,994 円で、歳入歳出差引残額 1,256,192 円が翌年度へ繰り越されている。

(1) 歳 入

歳入の決算状況は、次表のとおりである。

(単位 円・%)

区分 款別	予算現額	調 定 額	収入済額	不 納 欠 損 額	収 入 未 済 額	収入率・収納率	
						対予算現額	対調定額
財産収入	5,290,000	5,375,994	5,375,994	0	0	101.6	100.0
繰入金	1,000	0	0	0	0	0.0	—
繰越金	147,000	155,176	155,176	0	0	105.6	100.0
諸収入	2,000	16	16	0	0	0.8	100.0
合 計	5,440,000	5,531,186	5,531,186	0	0	101.7	100.0
3 年度	6,213,000	6,219,027	6,219,027	0	0	100.1	100.0
比較増減	△773,000	△687,841	△687,841	0	0	1.6 ポイント	0.0 ポイント
前年度対比	87.6	88.9	88.9	—	—	—	—

収入済額は 5,531,186 円で、調定額に対する収納率は 100.0% である。

収入済額の主なものは、財産収入 5,375,994 円である。

(2) 歳 出

歳出の決算状況は、次表のとおりである。

(単位 円・%)

区分 款別	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
議会費	197,000	174,800	0	22,200	88.7
総務費	5,193,000	4,100,194	0	1,092,806	79.0
予備費	50,000	0	0	50,000	0.0
合 計	5,440,000	4,274,994	0	1,165,006	78.6
3 年度	6,213,000	6,063,851	0	149,149	97.6
比較増減	△773,000	△1,788,857	0	1,015,857	△19.0ポイント
前年度対比	87.6	70.5	—	781.1	—

支出済額は 4,274,994 円で、予算現額に対する執行率は 78.6% である。

支出済額の主なものは、総務費 4,100,194 円である。

2 財産に関する調書

(1) 公有財産

土地、建物及び山林の状況は、次表のとおりである。

(単位 m²)

区 分	土 地			建 物		
	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高
山 林	2,953,615	0	2,953,615	0	0	0
立木 (m ³) (推定蓄積量)	59,684	526	60,210	—	—	—

※信州新町中牧財産区と共有 大岡中牧財産区分は 737/1,000

出資による権利の状況は、次表のとおりである。

(単位 円)

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
長 野 森 林 組 合	176,000	0	176,000

(2) 基 金

基金の状況は、次表のとおりである。

(単位 円)

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
現 金	23,831,245	57,037	23,888,282
有 価 証 券	10,000,000	0	10,000,000
合 計	33,831,245	57,037	33,888,282

令和4年度

長野市信州新町中牧財産区特別会計

決算審査意見書

長野市監査委員

5 監査第76号
令和 5 年 9 月 28 日

長野市信州新町中牧財産区
長野市長 荻原健司 様

長野市監査委員	西 島 勉
同	榑 原 剛
同	小 泉 栄 正
同	西 沢 利 一

令和 4 年度長野市信州新町中牧財産区特別会計決算審査意見について

地方自治法第 233 条第 2 項の規定により審査に付された、令和 4 年度長野市信州新町中牧財産区特別会計決算及びその附属書類を審査したので、次のとおり意見を提出します。

目 次

第 1	審査の種類	1
第 2	審査の対象	1
第 3	審査の着眼点	1
第 4	審査の実施内容	1
第 5	審査の結果	1
1	決算の概況	3
2	財産に関する調書	4

(注) 比率 (%) 及び構成比率 (%) は、小数点以下第二位を四捨五入した。

令和4年度長野市信州新町中牧財産区特別会計決算審査意見

第1 審査の種類

地方自治法第233条第2項の規定に基づいた決算審査で、令和5年6月30日から9月21日までの間、長野市監査基準に準拠して審査を実施した。

第2 審査の対象

1 令和4年度長野市信州新町中牧財産区特別会計決算

信州新町中牧財産区特別会計歳入歳出決算書

2 附属書類

歳入歳出決算事項別明細書

実質収支に関する調書

財産に関する調書

第3 審査の着眼点

全国都市監査委員会 実務ガイドライン「監査の着眼点」を踏まえ、法令に定められた決算書類相互の係数が一致しているか、また、事業は効率的に行われているかを審査の着眼点とした。

第4 審査の実施内容

審査に当たっては、決算書及び附属書類が、地方自治法その他関係法令に準拠して作成されているかを確認し、計数が正確であるか、予算の執行が適正かつ効率的に行われているかについて、諸帳簿、証書類と照合するとともに、関係職員の説明聴取を実施した。

なお、例月現金出納検査の結果も参考にして審査した。

第5 審査の結果

前記の方法により審査した限りにおいて、決算その他関係書類が法令に適合し、かつ正確であると認められた。

なお、「意見」は、次のとおりである。

<意見>

財産区の公有財産である山林(立木)等の管理を引き続き適切に実施されたい。
貸付地についても、契約に定める目的に従って適切に使用されているか、
引き続き確認されたい。

1 決算の概況

当年度の歳入決算額 2,441,707 円に対する歳出決算額は 1,896,423 円で、歳入歳出差引残額 545,284 円が翌年度へ繰り越されている。

(1) 歳 入

歳入の決算状況は、次表のとおりである。

(単位 円・%)

区分 款別	予算現額	調 定 額	収入済額	不 納 欠 損 額	収 入 未 済 額	収入率・収納率	
						対予算現額	対調定額
財産収入	1,868,000	1,910,892	1,910,892	0	0	102.3	100.0
繰入金	1,000	0	0	0	0	0.0	—
繰越金	530,000	530,804	530,804	0	0	100.2	100.0
諸収入	2,000	11	11	0	0	0.6	100.0
合 計	2,401,000	2,441,707	2,441,707	0	0	101.7	100.0
3 年度	3,031,000	3,080,590	3,080,590	0	0	101.6	100.0
比較増減	△630,000	△638,883	△638,883	0	0	0.1 ポイント	0.0 ポイント
前年度対比	79.2	79.3	79.3	—	—	—	—

収入済額は 2,441,707 円で、調定額に対する収納率は 100.0% である。

収入済額の主なものは、財産収入 1,910,892 円である。

(2) 歳 出

歳出の決算状況は、次表のとおりである。

(単位 円・%)

区分 款別	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
議 会 費	297,000	168,400	0	128,600	56.7
総 務 費	1,904,000	1,728,023	0	175,977	90.8
予 備 費	200,000	0	0	200,000	0.0
合 計	2,401,000	1,896,423	0	504,577	79.0
3 年度	3,031,000	2,549,786	0	481,214	84.1
比較増減	△630,000	△653,363	0	23,363	△5.1ポイント
前年度対比	79.2	74.4	—	104.9	—

支出済額は 1,896,423 円で、予算現額に対する執行率は 79.0% である。

支出済額の主なものは、総務費 1,728,023 円である。

2 財産に関する調書

(1) 公有財産

土地、建物及び山林の状況は、次表のとおりである。

(単位 m²)

区 分	土 地			建 物		
	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高
山 林	2,953,615	0	2,953,615	0	0	0
立木 (m ³) (推定蓄積量)	59,684	526	60,210	—	—	—

※大岡中牧財産区と共有 信州新町中牧財産区分は 263/1,000

出資による権利の状況は、次表のとおりである。

(単位 円)

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
長 野 森 林 組 合	62,800	0	62,800

(2) 基 金

基金の状況は、次表のとおりである。

(単位 円)

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
現 金	6,968,000	250,000	7,218,000

